

令和 05 年 8 月 7 日

葉山町議会 伊東圭介議長 殿

陳情 「生ごみ資源化施設」について工事請負契約の遵守を求める

陳情趣旨

クリーンセンター再整備事業工事請負契約は、2022 年 2 月 10 日葉山町議会本会議で「全会一致」で可決され、葉山町と共和化工（株）とで締結された。

契約内容は、「生ごみ資源化施設」に特化して見ると、以下の通り（金額は税抜き）

◆生ごみ資源化施設 3.63 億円

土木工事費：1.75 億円、設備費：1.80 億円、その他：0.08 億円。

◆生ごみ堆肥化処理能力 10 t / 日

◆処理費概算 年間運営費 = 37,956 千円（人件費込み）トンあたり処理 = 10,844 円

公募型プロポーザルでの工事請負契約であり、特記事項で、受注者は本設計に関し、要求水準書および工程表に従い基本設計図書及び実施設計図書を作成の上提出し、発注者の承認を受けるものとするとなっている。

よって、実施設計に於いて受注者の提案が多少の変更は認められるものの、要求水準書を大きく逸脱するような生ごみ資源化プロセスおよび設備構成になってはならない。又、年間運営費が大きく跳ね上がるようなこともあってはならない。

生ごみ資源化施設及び堆肥化プロセスについて、町に工事請負契約の遵守を求めるよう議会が働きかけることを求める。

陳情理由

「生ごみ資源化施設」の工事着工は 2024 年、実施設計は今年度中に確立させる必要がある。ここにきて、提案書（図 1）の前処理設備が「破袋機」から要求水準通りの「破除袋機」の案が議会に説明されている。当然、これにより後工程にも変化があると考えられるが設備費も含めて両者協議事項である。

又、逗子市との事務委託議案関連資料では、トン当たりの処理費が 19,700 円に上がっているが、これも 9 月がめどとされている町の生ごみ処理制度設計において明確にする必要がある。

工事請負契約先の共和化工（株）は、契約を遵守する義務がある。



図1 生ごみ処理施設の設備と処理能力（網掛け部分は情報公開請求で非公開）

設備・能力（情報部分公開）-1

受け入れ供給設備

- ①ごみ計量機 2基 最大秤料：30 t
付属機器：計量装置、データ処理装置、リーダポスト

前処理設備 受け入れと合わせて 0.12億円

- ①破袋機 1基
付属機器：投入ホツバ
②混合仕込み槽 1槽 $\Delta m \times \Delta m$
付属機器：底部から通気管

発酵設備 0.43億円

- ①発酵槽 Δ 槽
発酵日数24日
付属機器：エアレーション設備、その他必用設備一式
②切り返し装置 1台 車両は町が準備
③製品槽 Δ 槽
発酵日数8日
付属機器：エアレーション設備その他必用設備一式

貯留搬出設備 0.18億円

- ①堆肥ヤード 1槽 Δm^2 （180日分以上）
付属機器：エアレーション設備
②製品保管庫
付属機器：ジブクレーン

- ④異物除去ふるい機 1基

- ⑤製品ふるい機 1基

付属機器：キャスター付き可動架台

黄色帯は部分非公開で開示審査請求したい項目

脱臭・集塵設備 1.08億円

- ①薬液洗浄脱臭装置 2塔（各1塔） 通気量： $\Delta m^3/min$

付属機器：ph計、山水ノズル、接触ろ材

- ②脱臭ファン 2基 通気量： $\Delta m^3/min$

付属機器：点検口、ドレン抜き、ダンパ

- ③ダクト類 1式 風速： $\Delta m/s$ 以下

付属機器：点検口、ダンパ

- ④排気筒 1基 排気筒高さ Δm 吐出速度： $\Delta m/s$ 以下

付属機器：支持架台